

行政が施策を企画し、企業が事業を推進し、個人が自ら想いを社会に発信するとき、私たちが直面する課題とは何でしょうか？

この答えを見つける一つの鍵は、**データ**の活用です。

真のニーズを見極め、的確なアクションを起こすためには、「思い込み」ではなく「現状把握」に基づいた議論と判断が必要です。

本フォーラムでは、山梨総合研究所の研究員が**データ**を用いて地域課題を**フカボリ**し、「山梨県」の新たな可能性を探ります。

このフォーラムを通じて、幸せを生み出すヒントについて、
いっしょに考えてみませんか？

プログラム

司会進行 宇佐美 淳

13:30 開会挨拶 今井 久

1. 「**データ** から見える景色とは？」

13:35 幸せは何でつくられているの？ / 佐藤 文昭

13:50 バスに乗ってどこに行く？ / 藤原 佑樹

14:05 幸せな働き方への近道は？ / 在原 巧

14:20 若者のメンタル維持に欠かせないものは？ / 清水 季実子

14:35 まとめ

2. 「**フカボリ** の先にあるものは？」

15:10 2つのテーマに分かれて、ディスカッション

- 視覚障がい者のこと、知っていますか？ / 山本 陽介・宇佐美 淳
ゲスト：杉本 梢 氏（一般社団法人 日本心のバリアフリー協会）

- 子どもの貧困って、お金だけ？ / 渡辺 たま緒・山本 晃郷
ゲスト：米山 けい子 氏（認定NPO法人 フードバンク山梨 理事長）¹

3. クロージング

16:20 全体まとめ

